

1. 事例受諾状況（平成 27 年 4 月 17 日現在）

地域	北海道	宮城	茨城	東京	新潟	愛知	大阪	兵庫	岡山	福岡	合計
平成 17 年～21 年度	8	1	7	44	7	5	23	3	1	6	105
平成 22 年度	4	1	1	13	0	3	3	6	0	2	33
平成 23 年度	1 (1)	2	1	6 (1)	0	6 (3)	6 (2)	2	1	1	26 (7)
平成 24 年度	2 (1)	0	2	6 (1)	1 (1)	3 (2)	10	5 (1)	1	2	32 (6)
平成 25 年度	1	1	2	4	0	3 (1)	3	3(1)	4 (2)	3※1	24(4)
平成 26 年度	0	2	0	6 (4)	0	2 (1)	6 (4)	1(1)	1(1)	1(1)	19(12)※2
合計	16	7	13	79	8	22	51	20	8	15※1	239
() 内協働型再掲	(2)			(6)	(1)	(7)	(6)	(3)	(3)	(1)	(29)

※1：うち 1 例は佐賀で受諾

※2：その他、パイロット事例 11 事例を対応した

2. 評価進捗状況（評価終了事例）（平成 27 年 4 月 17 日現在）

地域	北海道	宮城	茨城	東京	新潟	愛知	大阪	兵庫	岡山	福岡	合計
平成 17 年～21 年度	5	1	6	40	4	3	19	2	1	3	84
平成 22 年度	4	0	1	6	3	2	5	1	0	2	24
平成 23 年度	3	2	2	10	0	3	4	5	1	3	33
平成 24 年度	1	1	1	6	0	4	5	3	0	1	22
平成 25 年度	2	0	1	6	1	3	11	3	1	0	28
平成 26 年度	1	1	2	6	0	6	1	5	4	3	29
合計	16	5	13	74	8	21	45	19	7	12	220

平成 26-27 年度 事例受付の状況

(平成 26 年 11 月 6 日現在の運営委員会報告済以降～平成 27 年 4 月 17 日現在)

●新規受付 8 事例

- ⑫ 11 月 18 日 東京地域 胸腔穿刺後の血胸、低酸素脳症で 2 ヶ月後死亡
- ⑬ 11 月 18 日 大阪地域 子宮全摘の翌日直腸穿孔、敗血症で 3 か月後死亡
- ⑭ 11 月 28 日 兵庫地域 カテーテルアブレーション 3 日後の死亡
- ⑮ 1 月 15 日 大阪地域 経皮的肝動脈化学塞栓療法後、翌日深夜に突然死
- ⑯ 1 月 16 日 大阪地域 PEG 造設翌日、大量吐血による死亡
- ⑰ 2 月 12 日 東京地域 肺炎でミニトラック挿入、気管貫通し 2 日後に死亡
- ⑱ 3 月 4 日 大阪地域 救急患者に胸腔ドレン挿入、肺損傷により翌日死亡
- ⑲ 3 月 16 日 岡山地域 腹腔鏡下子宮全摘術後 2 日目の深夜に心肺停止発見

●相談で終了した（受付に至らなかった）事例 18 事例

平成 26 年度

- ⑫ 11 月 21 日 当該医療機関での病理解剖となったため
- ⑬ 11 月 28 日 司法解剖となったため
- ⑭ 11 月 28 日 当該医療機関での病理解剖となったため
- ⑮ 12 月 1 日 他医療機関での病理解剖となったため
- ⑯ 12 月 2 日 申請について医療機関のコンセンサスが得られなかったため
- ⑰ 12 月 2 日 調査の希望ではなく解剖施設の情報提供が希望であったため
- ⑱ 12 月 4 日 遺族より解剖の承諾が得られなかったため
- ⑲ 12 月 11 日 遺族より解剖の承諾が得られなかったため
- ⑳ 12 月 12 日 すでに司法解剖をおこなっていたため

- ②① 12月19日 遺族より解剖の承諾が得られなかったため
- ②② 12月24日 司法解剖となったため
- ②③ 1月9日 遺族より解剖の承諾が得られなかったため
- ②④ 1月13日 評価終了事例のレビューを検討したが、受諾の場合は新年度以降
となったため
- ②⑤ 1月13日 調査の希望ではなく解剖施設の情報提供が希望であったため
- ②⑥ 2月10日 行政解剖となったため
- ②⑦ 2月16日 当該医療機関での病理解剖となったため
- ②⑧ 2月19日 医療機関から依頼がなかったため

平成27年度

- ① 4月1日 解剖の実施がないため